

創作プログラムのご案内 | 受講生を募集します

「日本画でお部屋を彩るミニ屏風づくり」

和紙や日本画の絵の具、箔などを使って、一からオリジナルのミニ屏風をつくります。

日本の伝統技法「紙の蝶番」を用いて、それぞれの感性で素敵な屏風を作りませんか？

●日時：4月20日(土)10時～15時30分

※お昼休憩を1時間はさみす

●講師：末永敏明氏(日本画家・東北芸術工科大学教授)

●対象：小学生～大人12名程度 ※低学年は保護者同伴

●会場：美術館実習室

●材料費：800円

申し込み締め切り…4月10日(水) *先着順

おとも子どももみんなで美術館を楽しもう！

「トークフリーデー」

「トークフリーデー」とは、展示室内での声の大きさを気にせず、鑑賞をお楽しみいただける日です。

いつもは展示室内では、静かにお話しいただくことが多いですが、この日は小さなお子さんやご友人と一緒に作品の感想を話しながら、お気軽に鑑賞をお楽しみください。

●実施日：5月5日(日)祝、9月16日(月)祝、11月3日(日)祝

常設展無料

「こどもミュージアムツアー」

美術館ってどんなところ？何があるのかな？

一緒に探検し、最後に記念バッジを作って持ち帰ろう！

●日時：5月5日(日)祝 10時～10時40分頃

●対象：親子向け(4才～小学生程度のお子さんと保護者)

●参加費：無料

●定員：5組程度

申し込み締め切り…5月2日(木)

お申し込み・お問い合わせは…

県立美術館「教育普及」係 電話024-531-5511

*美術館総合受付、美術館ホームページでも直接お申し込みいただけます。

4-5月の開館スケジュール (○印=休館日)

4月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	22	23	24	25	26
27	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
27	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	⑦	8	9	10	11
12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
⑲	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝
㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵

利用案内

開館時間…9時30分～17時(最終入館は16時30分)

休館日…月曜日(祝祭日にあたる場合は開館)、

祝祭日の翌日(土日にあたる場合は開館)、

年末年始(12月28日～1月4日)

展示替にともなう臨時休館(5月14日～24日)

観覧料…常設展：一般・大学生 280円(20名以上の団体は220円)、

高校生以下無料

企画展：展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。

*企画展料金で常設展もご覧いただけます。

常設展無料の日…こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日

観覧料の減免…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご提示ください)

交通案内

【JR福島駅・東口より】

●電車…

福島交通飯坂線→「美術館
図書館前駅」下車、徒歩2分

●バス…

9番乗場より福島交通バス
・市内循環もりん2コース
→「県立美術館入口」下車、
徒歩3分

●タクシー…約5分

【自家用車の場合】

●東北自動車道・福島飯坂IC
より市街地方向へ約15分



福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

電話●024-531-5511 / ファックス●024-531-0447

ホームページ●<https://art-museum.fcs.ed.jp>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

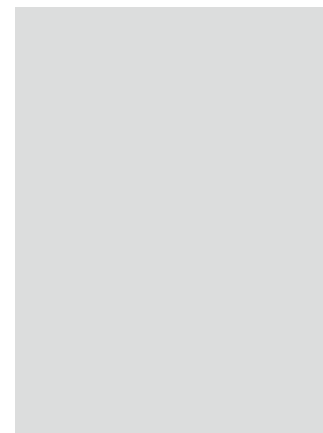
A R T INFORMATION

福島県立美術館 ニュース

企画展

「美人画の雪月花 培広庵コレクション」

2024年3月23日[土]ー5月12日[日]



山川秀峰《紅衣》大正13年頃

2024/4-5

vol.230

美人画の雪月花 ばい こう あん 培広庵コレクション展

2024年3月23日[土]～5月12日[日]

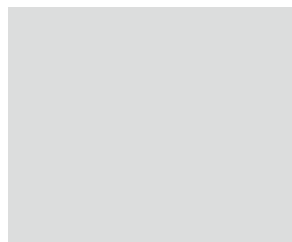
竹久夢二の「夢二美人」に代表される憂いを含んだ女性像や、モダンなライフスタイルを反映した新しい女性たちの姿が大正から昭和初期にかけて数多く描かれました。

長い時間と情熱をかけてそうした「美人画」を蒐集してきた培広庵氏のコレクションから、上村松園や北野恒富、島成園、土田麦僊ら京都大阪を主に活動の舞台とした画家や、江戸浮世絵の流れをくむ鐙木清方、伊東深水、山川秀峰ら、東西美人画家の名品約160点を特別公開します。過去20年以上にわたり開催された、培広庵コレクション展のなかでも最大規模の展覧会になります。

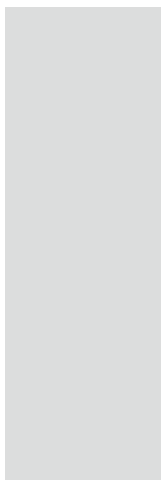
作品を通して時代と世相、各画家ならではの表現、女性美のありようの変化を楽しめる必見の展覧会です。

休館日●月曜日(4月29日、5月6日は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)

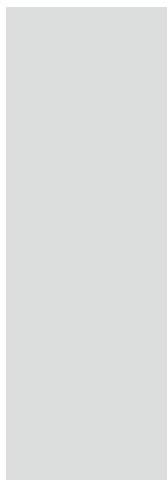
観覧料●一般・大学生 1,000(800)円、高校生 600(500)円、
小・中学生 400(300)円 ※()内は20名以上の団体料金



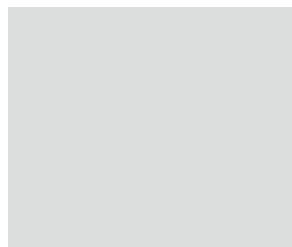
北野恒富《扇獅子》昭和前期



中村大三郎《静思》
大正9年頃



池田輝方《御代参詣》
大正4年頃



岡本神草《舞妓》昭和3年頃

[関連イベントのご案内]

・特別ゲストトーク

日時：4月14日(日) 13時30分～

ゲスト：培広庵さん(本展出品作品コレクター)

会場：企画展示室 ※申込不要、企画展観覧券が必要です。

・学芸員によるギャラリートーク

日時：3月24日(日)、5月3日(金/祝) いずれも13時30分～

会場：企画展示室 ※申込不要、企画展観覧券が必要です。

・講演会「美人画と装い」

日時：4月27日(土) 13時30分～15時

講師：田野葉月氏(滋賀県立美術館主任学芸員)

会場：美術館講堂 ※聴講無料。

第I期 コレクション展

2024年3月23日[土]～7月22日[月]

[主な展示内容]

◆プレイバック!福島の美術家たち

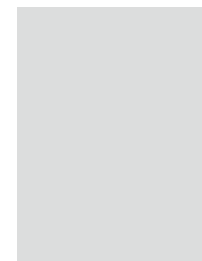
◆関根正二と近代の洋画:

関根正二《自画像》ほか

◆海外作品の名品:

モネ《ジヴェルニーの草原》ほか

◆掌の版画:昭和初期の版画雑誌



関根正二《自画像》1918年

次回の企画展示

福島県立美術館開館40周年記念展

福島の美術家たち2024

2024年5月25日[土]～7月22日[月]

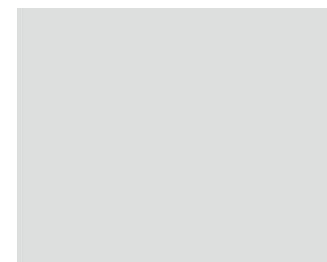
福島県立美術館では1984年7月22日の開館以来、折に触れて福島県出身・ゆかりの美術家の回顧と顕彰に努めてきました。

本展は過去3回にわたって開催された〈福島の美術家たち展〉を継承し、主に1990年代以降現在まで日本画・洋画・版画・立体・工芸の各分野において顕著な活動を続けてきた美術家40名をご紹介します。

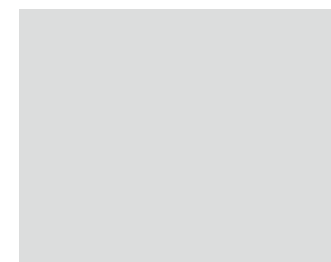
県内外で活躍する郷土作家の作品が一堂に会する貴重な機会にぜひご覧ください。

休館日●月曜日(7月15日、22日は開館)、7月16日(火)

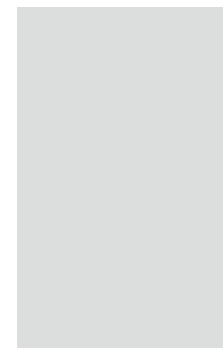
観覧料●一般・大学生 800(600)円、高校生 400(200)円、
小・中学生 200(100)円
※()内は20名以上の団体料金



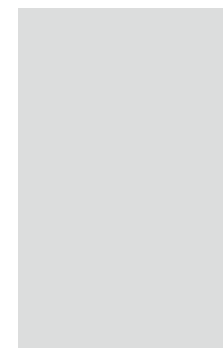
酒井昌之《雪の摺上川(茂庭)》2001年



齋藤勝正《歴(いわき神白海岸)》2012年



遠藤 徳《古里・帰還の日》2017年



横山尚人《ボブラ並木》1999年